

2023 年度 第 1 回 日本法獣医学会 総会資料

日時 2024年3月16日 12:30-13:00

場所 日本獣医生命科学大学 および Zoom

1. 2023 年度の活動

1) 会議

幹事会 12 回

総会 1回

学術集会 1回(2024年3月16日)

2) 会員数(2024年3月2日現在)

	2022 年度	2023 年度
正会員	126 名	160 名
学生会員	13 名	19 名

3) 幹事

第 4 章 役員

第 12 条 本会に、次の役員 を置く。

① 幹事

(役員を選任)

第 13 条 役員を選任は、次の方法による。

- ① 役員は、正会員の中から 役員候補者を選出し、総会の承認を得て決定される。
- ② 会長は、役員の互選により選任し、総会の承認を得て決定される。他の役員を運営委員とする。
- ③ 役員候補者となることを退職などを理由に辞退する場合は、投票の 1 ヶ月前までに申し出るものとする。

2023 年度に引き続き、下記の体制を予定したい。ただし、2024 年度中に、今後の新たな幹事候補について、検討したい。

田中 亜紀 日本獣医生命科学大学

佐伯 潤 帝京科学大学

石塚 真由美 北海道大学獣医学研究院

町屋 奈 日本動物福祉協会
鈴木 良 東京都 保健医療局 動物愛護相談センター多摩支所
梅谷 綾子 千葉県職員(旧所属千葉県動物愛護センター東葛飾支所)
三上 正隆 愛知学院大学法学部
田口 本光 環境省(前職)
高橋 真吾 東京都 保健医療局 健康安全部
松本 周 東京都 保健医療局 多摩小平保健所
内田 和幸 東京大学大学院農学生命科学研究科獣医学専攻
木村 享史 北海道大学獣医学研究院
川本 恵子 麻布大学獣医学部

4)2023 年度のその他の主な活動

- 洋書「Veterinary Forensic Medicine and Forensic Sciences. Edited By Jason H. Byrd, Patricia Norris, Nancy Bradley-Siemens. Copyright 2020」の翻訳
 - 3月原稿完成、2024年度中に発刊予定
- シンポジウムを開催した。
 - 1) 法獣医学の世界
 - 日時 2023年9月7日 16:30-18:30
 - 場所 オンライン(第166回 日本獣医学会学術集会内)
 - 2) International symposium on Veterinary Forensics in Japan
 - 日時 2023年10月21日(土)13:00-17:00
 - 場所 北海道大学獣医学研究院(講堂)および Zoom ウェビナー
 - 2名の研究者を招聘
 - ◇ Dr. Grant Richard Miller (Adjunct professor, UC Davis, USA)
 - ◇ Dr. Rachel Elizabeth Allavena (Professor, University of Queensland, Australia)
 - 3) 法獣医学を解く
 - 日時 2023年12月9日(土)13:30-16:00
 - 場所 Zoom ウェビナー(無料)
 - 共催 日本学術会議
- 研修会の開催
 - 2024年2月7-8日、環境省主催
 - 座学と実習(事例検討)について実施
- WEBサイトのページの管理運営
- 日本法獣医学会誌(査読付き)を発行の準備 <https://www.jvfm.net/journal>

5)2023 年度収入・支出

(収入)56856 円

項目	金額	
前年度繰り越し	56856 円	

(支出)28220 円

項目	金額	
第 3 回学術集会会場費	28000 円	
その他(振込手数料)	220 円	

2. 2024 年度の活動予定

• 研修会の開催

➤ 年 3 回の開催を検討

	対象	時期	費用	内容
環境省	自治体	1-2 月	無料	<ul style="list-style-type: none">講義(オンライン)、事例検討会(対面)自治体の意見を取り入れて、事例検討会は実用的な内容に
動物福祉協会から移管	自治体、動物病院獣医師・動物看護師、法曹関係者	通常 6 月、要件等	有料(検討中)	<ul style="list-style-type: none">講義(オンライン)、事例検討会(オンライン)オンデマンドでも配信
北海道大学	制限を設けない、獣医師以外も可	8 月ー 9 月	有料	<ul style="list-style-type: none">講義(オンライン)、実習(対面)内容について、基礎だけではなく、応用系も重視実習は中毒にフォーカス

• シンポジウムの開催

- 2024 年 9 月、日本獣医学会内での「法獣医学を解く」の開催
- その他のシンポジウム開催については検討中

• 学術集会の開催

- 2025 年 3 月を検討
- 有料化や会員のみ参加へ変更を検討

• 洋書の発刊

- 学窓社より洋書「Veterinary Forensic Medicine and Forensic Sciences. Edited By Jason H. Byrd, Patricia Norris, Nancy Bradley-Siemens. Copyright 2020」の翻訳書を発行する。

- 会費徴収の検討、法人化の検討
 - これまでは法獣医学の普及のため、会費を無料としてきた。
 - 日本法獣医学会の必要経費として、年間の事務局の運営経費、WEB サイト運営(ドメインやライセンス経費など)、シンポジウムの開催費(会場借り上げ費、招聘費)、資料印刷費、オンラインシステムのライセンス経費など。
 - 会員アンケートを取り、会員の意見を聴取したい。
 - 会費徴収の場合は法人化の検討も必要。